

院内のリハビリテーション設備・環境

福祉用具展示コーナー

福祉用具業者の協力を得ながら展示コーナーを設けています。カタログではなく、実際に目で見て使用できる環境を整えました。定期的に新しい機器への入れ替えも行っています。



訓練用車両

基本動作の確認、乗り降りの練習が可能です。左足でのアクセル操作や片手でウィンカー操作が楽にハンドル操作ができる補助装置なども体験できます。



パワーリハビリテーション機器

廃用予防の防止や筋力トレーニングで使用します。担当医師の確認が得られれば自主トレとしても使用することが可能。



仮合わせ用の歩行装具と装具外来

様々な種類の下肢装具を用意しています。毎週2回リハビリテーション医師による装具外来を開催しており、装具業者や担当セラピストと共に装具の適合について調整します。



木工・金工室

リハビリ室内に作業ルームを設けてあり、リハビリテーションの一環で作業を行うことが可能です。



水中トレッドミル

水中での歩行訓練が可能。水の浮力を利用して腰部や股関節、膝関節などへの重力による負担を減らすことで痛みを引き起こさずに脚の筋力増強や歩行訓練が行えます。



HAL (Hybrid Assistive Limb)

HAL (Hybrid Assistive Limb) は身体機能を改善・補助・拡張することができる世界初※のサイボーグ型ロボットです。身体にHALを装着することで、「人」「機械」「情報」を融合させ、身体の不自由な方をアシストしたり、いつもより大きなチカラを出したり、さらに、脳・神経系への運動学習を促すシステムです。



IVES (Integrated Volitional controlled Electrical Stimulation)

弱った筋肉の発する微弱な電位を読み取り、筋活動に比例した電気刺激で筋肉を刺激することで、筋力増強と動作の学習を補助する機器です。



トリオ300

患者とセラピストのタイミングに合わせて、目的とする筋肉への電気刺激が可能。様々な疾患の方の筋力増強や動作学習のリハビリの補助として活用しています。



ロムーバー (ROMOVER)

空気の圧力を利用して自動で手首と指の関節可動域訓練が行えます。



Neuroteck ニーハブ

電気刺激を利用して、歩行や立ち上がり動作に重要となる太腿の筋肉を刺激。筋力強化のリハビリテーション機器として活用しています。



昇降式キッチン

リハビリ室内ADL(日常生活動作)コーナーに備え付けのキッチン。高さが自由に変えられるのでご自宅のキッチンと同じ高さに調節したり、車椅子でも作業ができる高さに合わせることが可能です。



リハビリガーデン

園芸療法が行えるスペースと道具、車椅子でも活動できるテーブルやプランター等を用意しています。歩行訓練や散歩コースとしても活用されています。

